レインボー学童クラブ便り

きらきら

レインボー学童クラブ
レインボー第２学童クラブ
2026．2．2

節分

２月３日は節分です。当日は節分行事の一つとして、おやつに細巻きを食べる予定です。普段のおやつ時間は、お友達とお喋りをしながら楽しく過ごしていますが、節分の日は少し特別。無言で１本食べきることが、「福を逃さない」ための大切なポイントとされています。今年の恵方である南南東を向き、願いごとを心に思い浮かべながら、静かに黙々と食べる――そんな節分ならではの雰囲気を、クラブでも大切にしながら楽しみたいと思います。

中庭遊び

11月から始まった中庭遊び。中庭は広さに限りがあるため、事前に遊びを決め、みんなで同じ遊びを楽しむというルールのもとで行いました。

中でも一番盛り上がっていた遊びが「宝取り鬼」です。２つのチームに分かれ、相手チームの陣地の奥に置かれた宝を取りに行く遊びで、敵陣地に入っている間に相手にタッチされるとアウトとなり、自分の陣地の外へ戻らなければなりません。タッチされないように素早く動く俊敏さや、相手の動きを見て攻め方を考える観察力・思考力が求められる遊びです。３年生以上の子ども達が中心となって作戦を立て、「今だよ！」「こっちお願い！」などとチーム全体に声をかけながら進めています。相手チームの隙をついて宝を取ることができた時には、「やったー！」「ナイス！」という喜びや称賛の声が響き、一方で「うわー！やられたぁ！」と悔しそうな声も聞こえてきます。その直後には、両チームから「もう１回！」という声が上がり、すぐに次の戦いが始まるほどの盛り上がりです。

普段の外遊びではなかなか一緒に遊ぶ機会のないお友達とも関わるきっかけが生まれることが、中庭遊びの大きな魅力です。少しずつ日が伸び、中庭遊びの期間は１月中に終わってしまいましたが、ここで生まれたつながりや関係が、今後の遊びや生活の中でも続いていってほしいと願っています。

レゴブーム

最近、お部屋では一部の子ども達の間でレゴブームが到来しています。様々なブロックやパーツを組み合わせ、広々とした庭付きの家を作る子、立体的で迫力のある大きな船や車、高層ビル群を完成させる子など、それぞれが思い思いの作品作りを楽しんでいます。

ある日、レゴ作りが得意な男の子が「レゴで大事なのは想像力だよ」と教えてくれました。作りたいものの実物をよく観察し、形や仕組みを覚え、それを頭の中でイメージしながら組み立てていくのだそうです。イメージできても、それを形にすることは簡単ではないと思うのですが、子ども達は工夫を重ねながら見事に再現していくので、毎回驚かされます。

クラブにあるレゴは、みんなで使う大切な共有物です。そのため、いつでも自分の使いたいブロックが手に入るとは限らず、時にはブロックの取り合いになることもあります。しかし、「これと交換しない？」

「このブロック使う？」などと声を掛け合いながら上手に遊んでいます。

レゴ遊びを通して、想像力や創造力だけでなく、どうしたら自分も相手も気持ちよく遊べるのかを考え、少しずつ社会性を身につけている様子が感じられます。今後も、こうした遊びの時間を大切に見守っていきたいと思います。

2月の予定

3日(火)　節分おやつ
11日(水)　建国記念日
21日(土)　休所日
23日(月)　天皇誕生日
25日(水)　お誕生日会

3月18日(水)　小学校卒業式・春の遠足
3月24日(火)　小学校修了式・お別れ会

個人面談のご協力ありがとうございました

個人面談にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様からはお子様の学校や家庭での様子をお話しいただき、指導員からはクラブでの様子をお伝えさせていただきました。お話いただいたことを子ども達の成長につなげられるよう、今後の保育に活かしていきたいと思います。お忙しい中、ご協力くださいまして、本当にありがとうございました。

コラム：小学生の恋愛事情？

2月14日はバレンタインデー。私が子どもの頃はチョコをもらえるかもらえないか…と話をしていたのが思い出されます。少し前は友チョコ、今はマイチョコが話題となっていてチョコレートを楽しむイベントに変化しているようです。今回は恋愛事情について少しお話したいと思います。

実際クラブでも3･4年生になると「好きな人は誰か」「〇〇と□□は両想いだ。付き合っている」という話を耳にします。思い返すと、自分もそんな頃あったなと懐かしくなります。小学館『ちゃお』での「恋愛に関するアンケート」の結果は以下の通りです。

「恋愛･LOVE」に関する調査
※『ちゃお』2024年6月号

さて、この結果をご覧になってどのような感想をお持ちでしょうか？

一般的に小学生の恋愛は、「好き」という気持ちの芽生えから、手紙交換や連絡を取り合う程度のことが多いです。高学年では「付き合う」という形（告白･デート）に発展することもありますが、あくまで体験や遊びの要素が強く、中高生のような深い関係とは異なります。

私自身は「好き」を否定せずに健全な心の成長と受け止めています。反対に冷やかしたりすることは、他人を不快にするものでやめるように指導していきます。この先はご家庭でのお願いですが、もし、お子さんから「付き合っている」との話が出たら「心と体」の話をしてあげてください。そして安全で安心な関わり方をしてほしいと伝えてあげてください。

今田　康介